



Long Range Barcode GunSDK リファレンス ASR-R202G

更新履歴

バージョン	変更内容	担当者	日付
1.0	新規作成	李丹	2019/9/9

目 次

1. 概要	5
2. LongRange2D クラス	6
2.1. Property	6
2.1.1. longRange2DDevice	6
2.1.2. beep	6
2.1.3. vibrator	6
2.1.4. sleepTime	6
2.1.5. autoOffTime	7
2.1.6. scannerTimeOut	7
2.2. メソッド	7
2.2.1. initWithLongRange2DDevice	7
2.2.2. disconnect	7
2.2.3. setDelegate	8
2.2.4. getFirmwareVersion	8
2.2.5. getSerialNumber	8
2.2.6. getBatteryStatus	8
2.2.7. getAction	8
2.2.8. startScan	9
2.2.9. stopScan	9
2.2.10. setBarcodeParam	9
2.2.11. getBarcodeParam	9
2.2.12. startBeepWithBeepTime	10
2.2.13. startVibratorWithVibratorTime	10
2.2.14. setDefaultScannerPrama	11
2.2.15. updateFirmwareWithFileName	11
2.2.16. getMessageWithResultCode	11
3. LongRange2DDeviceClass	12
3.1. プロパティ	12
3.1.1. delegate	12
3.1.2. deviceModel	12
3.1.3. isConnect	12
3.2. メソッド	13
3.2.1. initWithDeviceModel	13
3.2.2. getAddress	13
3.2.3. disconnect	13
3.2.4. getSDKVersion	13
4. LongRange2DParamValue	14
4.1. プロパティ	14
4.1.1. paramName	14
4.1.2. value	14
4.2. メソッド	14
4.2.1. setEnabled	14
5. LongRange2DResultData	15

5.1.	メソッド	15
5.1.1.	initWithResultCode	15
5.1.2.	result	15
5.1.3.	mData	15
6.	デリゲートインタフェース	16
6.1.	LongRange2DDelegate	16
6.1.1.	longRange2DInitialized	16
6.1.2.	updateDeviceState	16
6.1.3.	changedActionState	17
6.1.4.	receivedBarcodeString	17
6.1.5.	receivedBarcodeData	17
6.1.6.	onAsReaderTriggerKeyEvent	18
7.	列挙型	19
7.1.	ResultCode	19
7.2.	BeepState	20
7.3.	VibratorState	20
7.4.	ParamName	20

1. 概要

本マニュアルについて：

1. LongRangeSDK の API・プロパティ等のリファレンスとなります。

開発ツール：Xcode 7.3.1 +

システム要求：iOS 8.0 +

2. LongRange2D クラス

LongRange2D クラスは「Long Range Barcode Gun」の初期化・制御・情報取得を行うプロパティ・インタフェースを提供します。

2.1. Property

2.1.1. longRange2DDevice

LongRange2DDevice インスタンスの設定、取得のプロパティ

```
@property (nonatomic, strong) LongRange2DDevice *longRange2DDevice;
```

説明

デバイスを接続し、コマンドを受け取る・発送します。

注：

LongRange2DDevice インスタンスがなければ、LongRange2D インスタンスが動けません。

2.1.2. beep

列挙型でビープの設定・状態取得ができるプロパティ。

```
@property (nonatomic, assign) BeepState beep;
```

説明

音量大、音量小、ビープなしの 3 つで設定ができます。
ページ 20 の「7.2. BeepState」を参照ください。

2.1.3. vibrator

バイブレーターを設定・状態取得ができるプロパティ。

```
@property (nonatomic, assign) VibratorState vibrator;
```

説明

バイブレーターをオン、オフの 2 つで設定できます。
ページ 20 の「7.3. VibratorState」を参照ください。

2.1.4. sleepTime

スリープタイム設定・状態取得ができるプロパティ。

```
@property (nonatomic, assign) int sleepTime;
```

説明

スリープタイムを設定が行えます。
接続を切断した後、ASR-R202G 自体がスリープになるまでの時間を設定します。

2.1.5. autoOffTime

オートオフタイムの設定・取得ができるプロパティ。

```
@property (nonatomic, assign) int autoOffTime;
```

説明

接続を切断した後、ASR-R202G 自体のパワーが OFF になるまでの時間を設定します。

2.1.6. scannerTimeOut

スキャンのタイムアウトの設定・取得ができるプロパティ。

```
@property (nonatomic, assign) int scannerTimeOut;
```

説明

ASR-R202G で行なっているスキャンが停止する(レーザーが止まる)までの時間を設定します。

Int 設定可能範囲 4~30(秒)。

2.2. メソッド

2.2.1. initWithLongRange2DDevice

LongRange2D オブジェクトの初期化。

```
- (id)initWithLongRange2DDevice:(LongRange2DDevice *)device  
delegate:(id<LongRange2DDelegate>)delegate;
```

引数

device : LongRange2DDevice のインスタンスを指定します。

delegate : LongRange2DDevice からのレスポンスを受取るインスタンスを指定します。

2.2.2. disconnect

ASR-R202G と iOS デバイスの接続を切断。

```
- (void)disconnect;
```

説明

LongRange2DDevice の接続を切断を行います。

実行時に、内部の LongRange2D インスタンスも廃棄されます。

注 :

LongRange2DDevice が廃棄されません。

2.2.3. setDelegate

Delegate 設定メソッド。

```
- (void)setDelegate:(id<LongRange2DDelegate>)delegate;
```

引数

delegate : LongRange2DDevice からのレスポンスを受取るインスタンスを指定や、Delegate を設定しているターゲットを変更できます。

2.2.4. getFirmwareVersion

FW バージョン情報取得メソッド。

```
- (NSString *)getFirmwareVersion;
```

説明

FW バージョン情報を文字列で取得できます。

2.2.5. getSerialNumber

シリアル番号取得メソッド。

```
- (NSString *)getSerialNumber;
```

説明

シリアル番号を文字列で取得できます。

2.2.6. getBatteryStatus

バッテリーステータス取得メソッド。

```
- (int)getBatteryStatus;
```

説明

ASR-R202G のバッテリーステータスを返します。

注：

頻繁に呼出した場合、エラーで取得出来ない場合があります。

2.2.7. getAction

実行中コマンド取得。

```
- (CommandType)getAction;
```

説明

現在実行しているコマンドが取得できます。

コマンドを実行してない場合は、**CommandStop** を返します。

ページ 20 の「7.3 VibratorState 」を参照ください。

2.2.8. startScan

スキャン開始

```
- (ResultCode)startScan;
```

説明

バーコードのスキャンを開始します。

スキャンしたバーコードのデータは `LongRange2DDelegate` の `detectBarcode` で受け取れます。

ページ 17 の「6.1.4. detectBarcode」を参照ください。

2.2.9. stopScan

スキャン停止

```
- (ResultCode)stopScan;
```

説明

バーコードのスキャンを停止します。

2.2.10. setBarcodeParam

バーコードスキャンのパラメーター設定

```
- (ResultCode)setBarcodeParam:(LongRange2DParamValue *)paramData;
```

引数

本メソッドは `LongRange2DparamValue` でバーコードのタイプとスキャン有効・無効を設定することができます。

2.2.11. getBarcodeParam

スキャンするバーコードタイプの情報を返すメソッド

```
- (LongRange2DParamValue*)getBarcodeParam:(ParamName)paramName
```

引数

paramData : バーコード名称の列挙値

戻り値

`LongRange2DparamValue` にバーコードオブジェクトを返します。

バーコードスキャンの有効・無効、名称を含めています。

説明

`getBarcodeParam` メソッドで `LongRange2DParamValue` オブジェクトから返したバーコードの列挙型とバーコードスキャンの有効・無効情報を取得します。

2.2.12. startBeepWithBeepTime

LongRange2D ビープの開始・ビープタイムを制御するメソッド

```
- (ResultCode)startBeepWithBeepTime:(int)beepTime;
```

引数

beepTime : int 型、ビープタイムを設定します。

説明

startBeepWithBeepTime で ASR-R202G のビープ開始、ビープタイムを設定することができます。

2.2.13. startVibratorWithVibratorTime

LongRange2D の振動開始と振動タイムを制御するメソッド

```
- (ResultCode)startVibratorWithVibratorTime:(int)vibratorTime;
```

引数

vibratorTime : int 型、LongRange2D の振動タイムを設定します。

説明

startVibratorWithVibratorTime で ASR-R202G の振動の開始と、振動時間を設定できます。

2.2.14. setDefaultScannerPrama

LongRange2D 初期設定に戻すメソッド。

```
- (ResultCode)setDefaultScannerPrama;
```

引数

本メソッドで LongRange2D を初期設定に戻します。

2.2.15. updateFirmwareWithFileName

LongRange2D FW の更新メソッド。

```
- (void)updateFirmwareWithFileName:(NSString *)filename fileData:(NSData *)data  
resultCode:(void(^)(ResultCode resultCode))resultCode progress:(void(^)(NSProgress *  
progress))progress;
```

引数

fileName : FW の名称を更新
data : FW のファイルデータを更新
resultCode : FW の更新結果
progress : FW の更新ステータスを更新

2.2.16. getMessageWithResultCode

コマンドの実行結果情報を返すメソッド。

```
- (NSString *)getMessageWithResultCode:(ResultCode)resultCode;
```

引数

resultCode : 列挙型 ResultCode コマンドが実行した結果です。

3. LongRange2DDeviceClass

LongRange2Ddevice クラスは AsRing+制御プロトコル (AACP) レベルの LongRange2DDevice の HW デバイスを表し、iOS と LongRange2DDevice の通信を制御するためにソフトウェアインタフェースを提供します。

3.1. プロパティ

3.1.1.delegate

AsRing+からイベントの通知またはイベントのデータを受け取るデリゲート。

```
@property (weak, nonatomic) id<LongRange2DDeviceReadDataDelegate> delegate;
```

3.1.2.deviceModel

LongRange2D デバイスの型番を設定・取得。

```
@property (strong, nonatomic) NSString * deviceModel;
```

説明

deviceModel は LongRange2DDevice の型番となります。

3.1.3.isConnect

LongRange2Ddevice の接続ステータスを取得できるプロパティ。

```
@property (assign, nonatomic) BOOL isConnect;
```

3.2. メソッド

3.2.1. initWithDeviceModel

LongRange2Ddevice オブジェクトを初期化するメソッド。

```
- (instancetype)initWithDeviceModel:(NSString *)deviceModel;
```

3.2.2. getAddress

AsRing+で LongRange2DDevice に割り当てたアドレスを取得します。

```
- (NSString *)getAddress;
```

3.2.3. disconnect

LongRange2Ddevice インスタンスとの接続を切断します。

```
- (void)disconnect;
```

3.2.4. getSDKVersion

LongRange2D SDK のバージョンを返すメソッド

```
- (NSString *)getSDKVersion;
```

4. LongRange2DParamValue

バーコード名称とバーコードスキャンの有効・無効情報を取得するクラスです。

4.1. プロパティ

4.1.1.paramName

列挙型でバーコード名を表すプロパティ。

```
@property (assign, readwrite) ParamName paramName;
```

説明

プロジェクト名を取得します。

20 ページの「7.4 ParamName」をご参照ください。

4.1.2.value

```
@property (assign, readwrite) unsigned int value;
```

説明

バーコードスキャンが有効・無効の情報を取得します。

4.2. メソッド

4.2.1.setEnabled

```
- (void)setEnabled:(BOOL)value;
```

説明

バーコードスキャンが有効・無効を設定します。

5. LongRange2DResultData

ResultCode を返すクラスです。メソッドが ResultCode とデータを返した時に使います。

5.1. メソッド

5.1.1. initWithResultCode

```
- (id)initWithResultCode:(ResultCode)result data:(NSData *)data
```

引数

ResultCode : ResultCode 列挙型で LongRange2DResultData の実行結果を設定します。

Data : NSData 型で LongRange2DResultData の実行結果を設定します。

戻り値

LongRange2DResultData オブジェクトを返します。

説明

LongRange2DResultData オブジェクトを生成します。

5.1.2. result

```
- (ResultCode)result;
```

説明

ResultCode 列挙型で Action の実行結果を返します。

5.1.3. mData

```
- (NSData *)data;
```

説明

NSData データタイプで LongRange2D のデバイス情報を返します。

6. デリゲートインタフェース

6.1. LongRange2DDelegate

6.1.1. longRange2DInitialized

初期化完成した LongRange2D オブジェクトを返すデリゲートメソッド。

```
- (void)longRange2DInitialized:(LongRange2D *)longRange2D;
```

引数

longRange2D : 初期化を完成した LongRange2D オブジェクト。

説明

LongRange2D オブジェクトは LongRange2D と接続して、初期化を完成した後、本メソッドが呼び出します。

6.1.2. updateDeviceState

コマンド実行のステータスを返すデリゲートメソッド。

```
- (void)updateDeviceState:(ResultCode)error;
```

引数

error : ResultCode 列挙型、LongRange2D コマンドの実行結果を表示します。

説明

デバイスのスキャンできるバーコードタイプなどのコフィグするコマンドを呼び出した時に、本メソッドが呼び出されて、ユーザーにコマンドよりコフィグした結果を通知します。

6.1.3.changedActionState

LongRange2D アクションのステータスの変化を返すデリゲートメソッド。

```
- (void)changedActionState:(CommandType)action resultCode:(NSInteger)resultCode;
```

引数

action : CommandType 列挙型、LongRange2D が実行しているアクションを表示します。

resultCode : NSInteger 型、LongRange2D が実行しているアクションコマンドのステータスを表示します。

説明

startScan、stopScan などのメソッドを呼び出した時、LongRange2D のアクションが変化になります。この時、イベントが呼び出されて、ユーザーに通知します。

6.1.4.receivedBarcodeString

スキャンしたバーコード情報を返すデリゲートメソッド。

```
- (void)receivedBarcodeString:(NSString *)barcodeString  
barcodeType:(BarcodeType)barcodeType;
```

引数

barcodeType : BarcodeType 列挙型、スキャンされたバーコードタイプを表します。

barcodeString : NSString 型、スキャンされたバーコードデータを表します。

説明

startScan メソッドとスキャナーが呼び出された後、本イベントを呼び出します。バーコードデータが LongRange2D 内部で自動的に解析され、NSString 型で返します。

6.1.5.receivedBarcodeData

スキャンしたバーコード情報を返すデリゲートメソッド。

```
- (void)receivedBarcodeData:(NSData *)barcodeData  
barcodeType:(BarcodeType)barcodeType;
```

引数

barcodeType : BarcodeType 列挙型、スキャンされたバーコードタイプを表します。

barcodeData : NSData 型、スキャンされたバーコードデータを表します。

説明

startScan メソッドとスキャナーが呼び出された後、本イベントを呼び出します。バーコードデータが LongRange2D 内部で自動的に解析されなく、ユーザーがバーコードタイプによって、解析する必要があります。NSData 型で返します。

6.1.6.onAsReaderTriggerKeyEvent

トリガーキーイベント取得デリゲートメソッド。

- (BOOL)onAsReaderTriggerKeyEvent:(BOOL)status;

引数

status : Bool 型

押下 (YES) 離す (NO)。

戻り値

YES : デフォルト操作を実行します。

押下 : スキャン開始 ; 離す : スキャン停止。

NO : ユーザーカスタマイズ操作を実行します。

説明

LongRange2D のトリガーキーを押下した場合、デリゲートが呼び出されます。引数は **yes** の場合、トリガーキーが押下され、引数は **no** の場合、トリガーキーが離されます。戻り値が **yes** の場合、SDK 内部のデフォルト操作を実行、戻り値が **no** の場合、APP よりを操作カスタマイズします。

7. 列挙型

7.1. ResultCode

LongRange2D のプロパティまたは LongRange2D 実行結果を表示します。

定義	値	説明
ResultNoError	0x0000	成功の結果
ResultOtherError	0x0001	不明のなエラー
ResultInsufficientPower	0x000B	バッテリー残量が不足
ResultInOperation	0xE000	操作中
ResultOutOfRange	0xE001	範囲外
ResultNotConnected	0xE100	デバイスと接続されない
ResultInvalidParameter	0xE200	無効のパラメータ伝送
ResultInvalidResponse	0xE300	無効のパラメータを返す
ResultNotSupportFirmware	0xEE00	サポートしない FW
ResultTimeout	0xEFFF	アクセスタイムアウト
ResultHandleMismatch	0xF001	ハンドルがマッチングしない
ResultCRCError	0xF002	タグがレスポンスした CRC エラー
ResultCommandFormatError	0xF007	コマンドフォーマットエラー
ResultParamError	0xFFFFB	パラメーターエラー
ResultBusy	0xFFFFC	デバイスがビジー
ResultInvalidCommand	0xFFFFD	無効なコマンド
ResultLowBattery	0xFFFFE	バッテリー残量が低い
ResultOperationFailed	0xFFFFF	実行失敗

7.2. BeepState

LongRange2D ビープのステータスを定義します。

定義	値	説明
Beep_Off	0	ビープオフ
Beep_Low	1	ビープ音量小
Beep_High	2	ビープ音量大

7.3. VibratorState

LongRange2D バイブレーターのステータスを定義します。

定義	値	説明
Vibrator_Off	0	バイブレーターオフ
Vibrator_On	1	バイブレーターオン

7.4. ParamName

LongRange2D のバーコード列挙型を定義します。

定義	値	説明
Unknown	0x0000	Unknown
UPCA	0x00A8	UPC-A
UPCE0	0x00B3	UPC-E
EAN8	0x00C5	EAN/JAP-8
EAN13	0x00BD	EAN/JAP-13
Code128	0x0098	Code 128
Code39	0x006D	Code 39
Code93	0x0081	Code 93
Code11	0x0093	Code 11
I2of5	0x0077	Interleaved 2 of 5
Codabar	0x0066	Codabar

MSI	0x00CC	MSI
X2of5	0x008F	Matrix 2 of 5
PDF417	0x00E2	PDF 417
MicroPDF	0x00E7	MicroPDF 417
Matrix	0x0102	Data Matrix
MaxiCode	0x0108	MaxiCode
QRCode	0x00FC	QR Code
AztecCode	0x010C	Aztec Code
GS1128	0x009F	GS1-128
Telepen	0x00A3	Telepen
CodablockA	0x00DA	Codablock A
CodablockF	0x00DE	Codablock F
JapanPost	0x00F5	Japan Post
GS1DatabarRSS14	0x013D	GS1 Databar (RSS-14)